

報告事項ウ

平成29年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について

平成29年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について、別紙のとおり報告します。

平成29年4月14日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

平成 2 9 年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査における得点状況

鳥取県教育委員会

平成29年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8

平成29年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 3,560人
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去10年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3
平成21年度	25.2	24.9	29.5	23.2	23.7	126.6
平成20年度	25.2	27.8	21.2	25.5	31.1	130.7
平成19年度	29.8	29.2	21.0	28.7	26.0	134.7

各教科50点満点、合計250点

<学力検査得点状況に見られる傾向>

国語・・・全体をふまえて読み取る問題や根拠を明確にして自分の考えをまとめる問題の正答率がやや低かったが、基礎的な言語事項や文学的文章における心情理解の問題の正答率は概ね高かったことなどから、平均点は昨年度並みの高さとなったと考えられる。

社会・・・基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を問う問題や、習得した知識をもとに資料を読み解いた上で答える問題を中心に出題した。基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得に関する内容については正答率が高く、習得した知識をもとに資料を読み解いた上で答える問題の正答率が低かった。昨年と同程度の平均点となった。

数学・・・各学年・各領域から基礎・基本を中心にバランスよく出題した。文字式の意味を説明したり、比例定数を求めたりすることが改善傾向にある。また、昨年度に続き、思考の過程を記述する設問を出題したが、昨年度より取り組みやすかったため、平均点が上がったと考えられる。

理科・・・様々な分野の基礎的・基本的知識や理解度を問う問題から、観察・実験の結果を処理して考察する問題まで幅広く出題し、比較的難しい分野の光の道筋の作図や化学反応式を出題したが、重要語句や基本的な計算問題等の正答率が高かったため、昨年度より平均点が高くなったと考えられる。

英語・・・5語程度記述量を増やした英作文については、昨年度と比して正答率がやや下がった。また、長文の内容理解に関する問題は、記載語数を昨年並みとし、平易な語彙で出題したが、英語で本文の要旨を記した英文に適切な語を補充したり、本文の展開に合う英文を補充したりする問題を新たに設定したため、昨年度に比べ、正答率は下がり、全体の平均点も下がったと考えられる。

2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

得点		教科	国語	社会	数学	理科	英語
0	～	2	2	4	35	4	3
3	～	4	3	5	47	5	21
5	～	6	15	16	66	14	44
7	～	8	22	33	72	25	71
9	～	10	54	89	92	42	91
11	～	12	57	127	101	62	137
13	～	14	97	145	84	85	159
15	～	16	140	184	134	92	138
17	～	18	154	210	154	114	169
19	～	20	191	193	152	137	160
21	～	22	219	202	173	136	170
23	～	24	255	237	176	163	145
25	～	26	278	216	218	197	164
27	～	28	264	208	227	221	154
29	～	30	278	192	230	209	180
31	～	32	275	221	247	235	160
33	～	34	275	201	274	276	220
35	～	36	246	227	253	276	197
37	～	38	238	200	265	279	195
39	～	40	200	215	231	277	228
41	～	42	163	168	169	254	217
43	～	44	85	134	99	234	201
45	～	46	41	92	53	139	181
47	～	48	8	31	7	64	101
49	～	50	0	10	1	20	54
受検者数			3,560	3,560	3,560	3,560	3,560

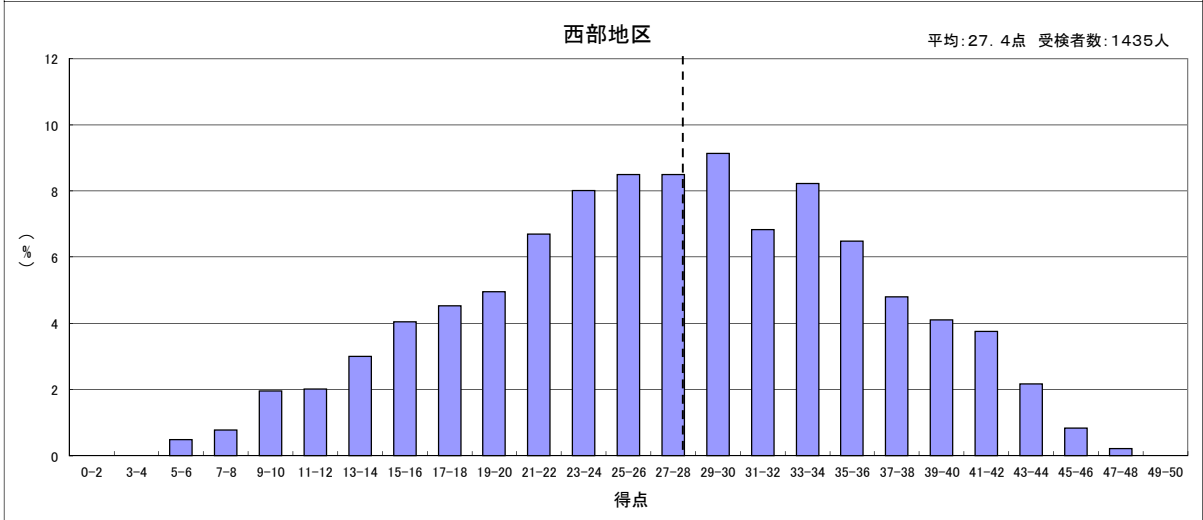
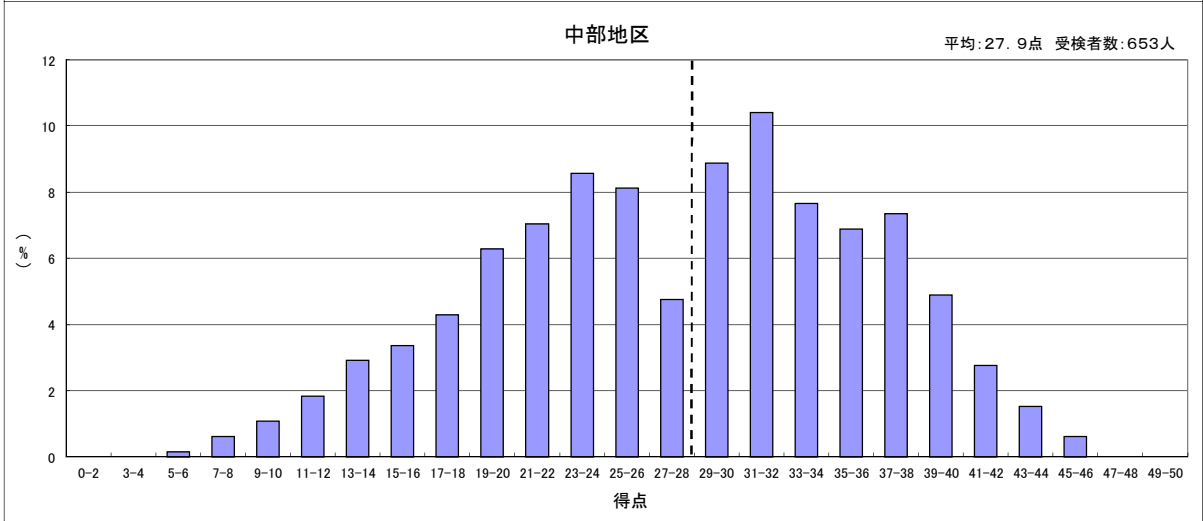
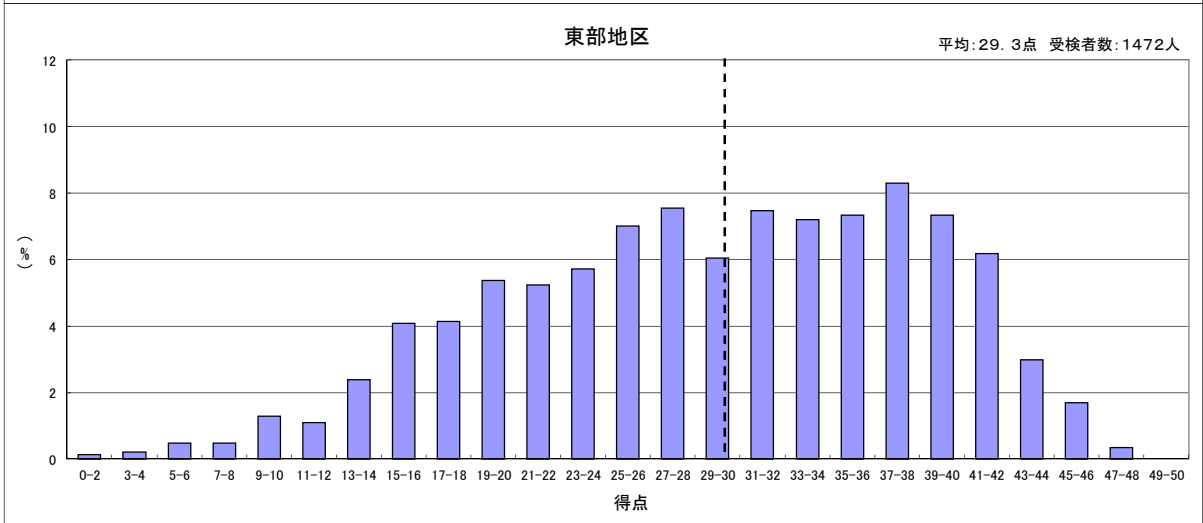
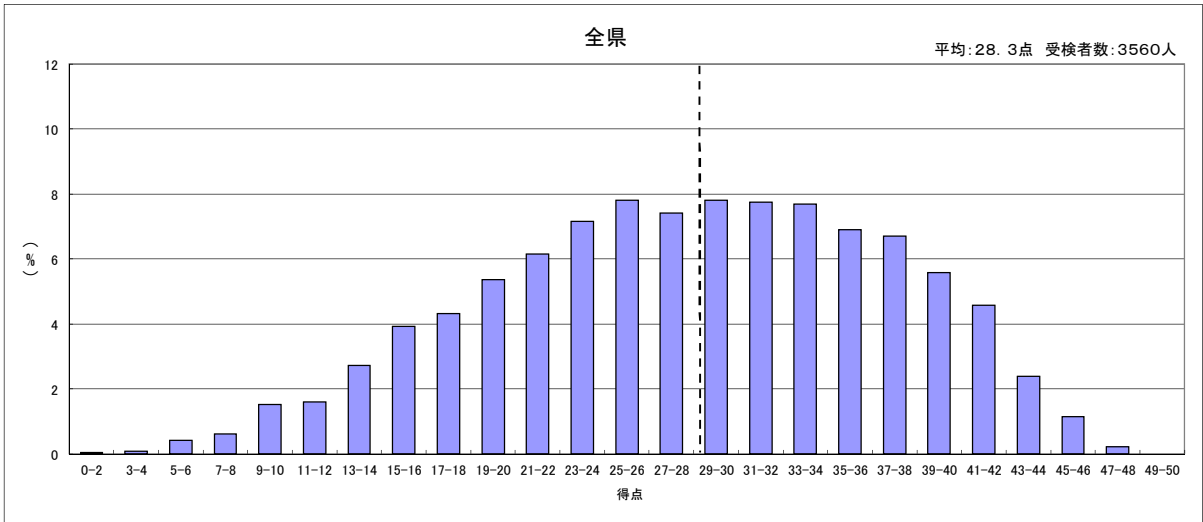
(人)

【総得点における度数分布】

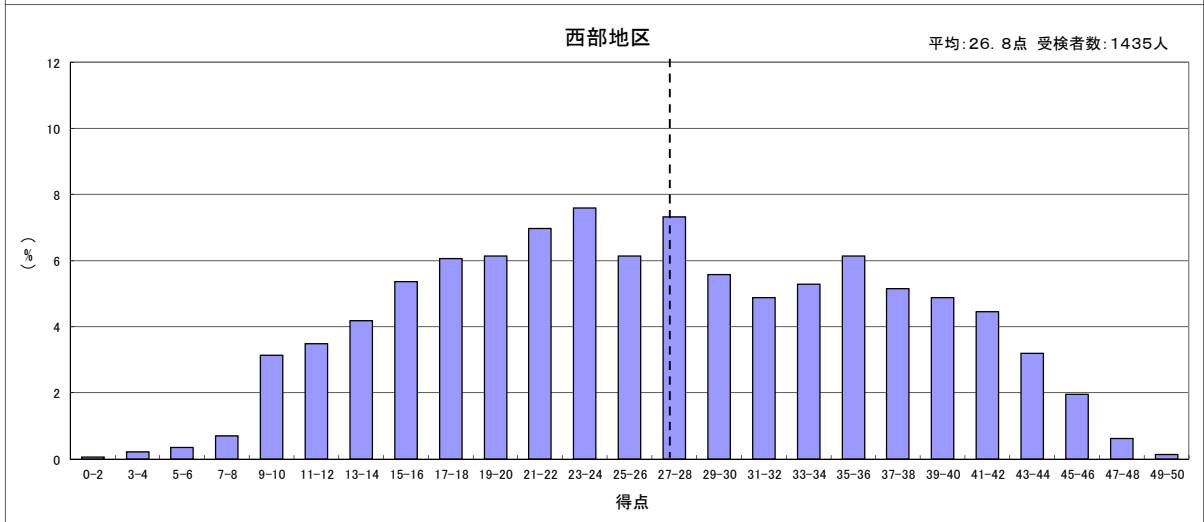
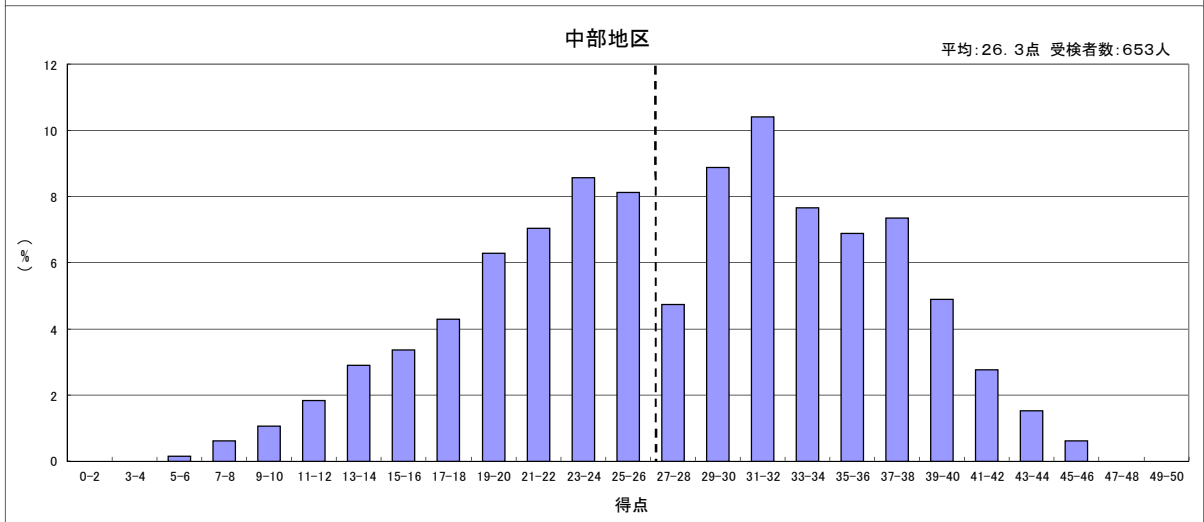
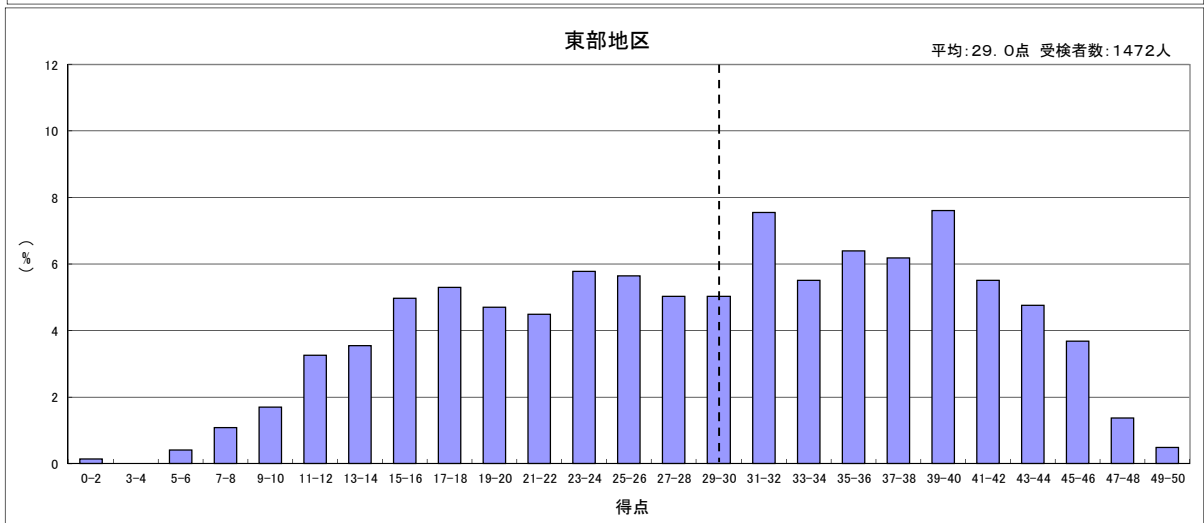
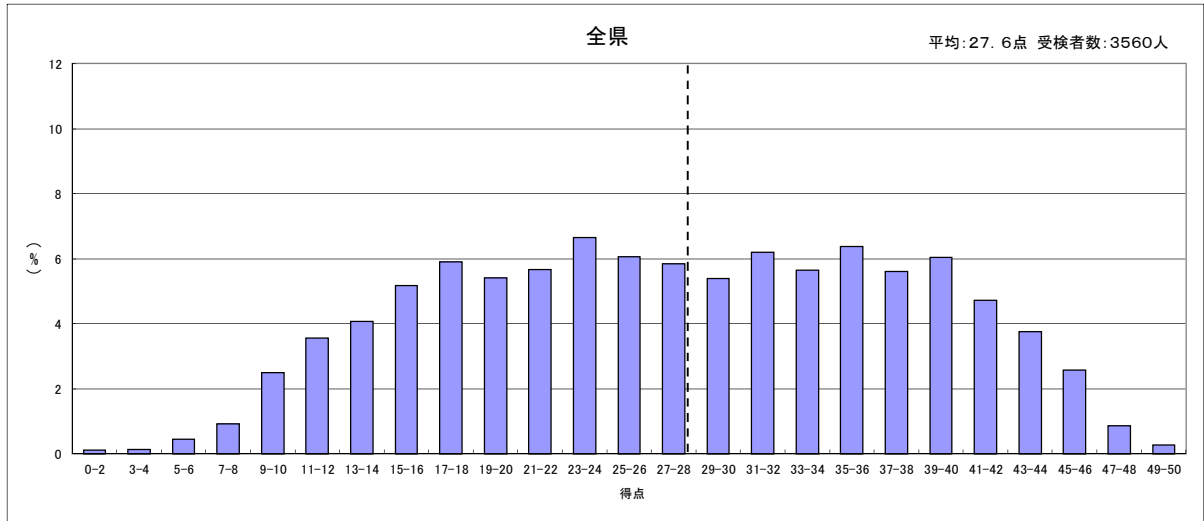
総得点	人数
0	0
6	1
11	1
16	0
21	1
26	3
31	13
36	12
41	21
46	20
51	31
56	39
61	53
66	76
71	55
76	66
81	84
86	105
91	80
96	93
101	92
106	95
111	108
116	94
121	113

総得点	人数
126	108
131	101
136	118
141	132
146	123
151	146
156	130
161	123
166	105
171	122
176	142
181	124
186	143
191	150
196	144
201	101
206	106
211	88
216	49
221	25
226	17
231	6
236	1
241	0
246	0
受検者数	3,560

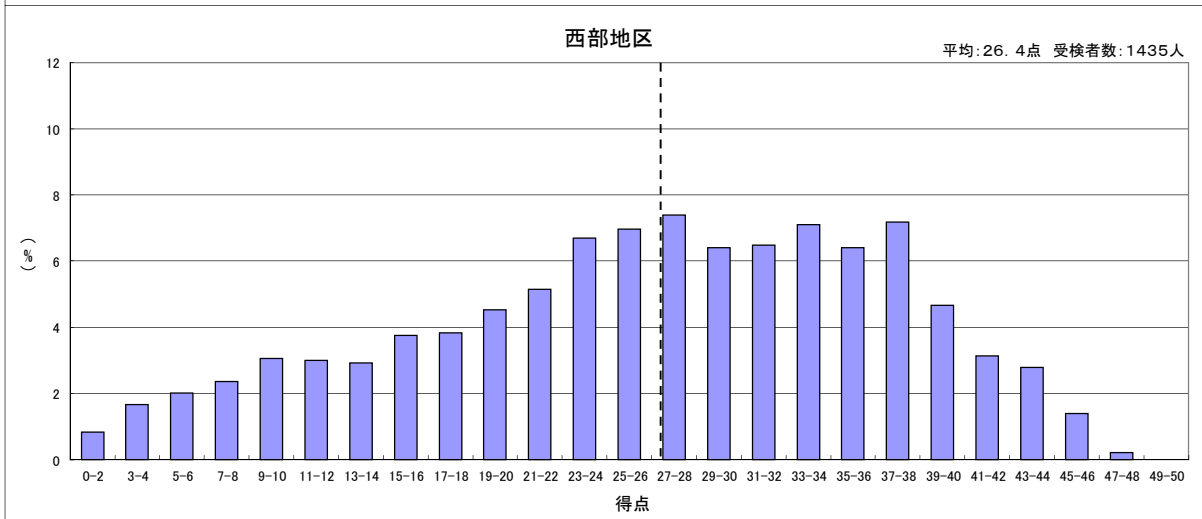
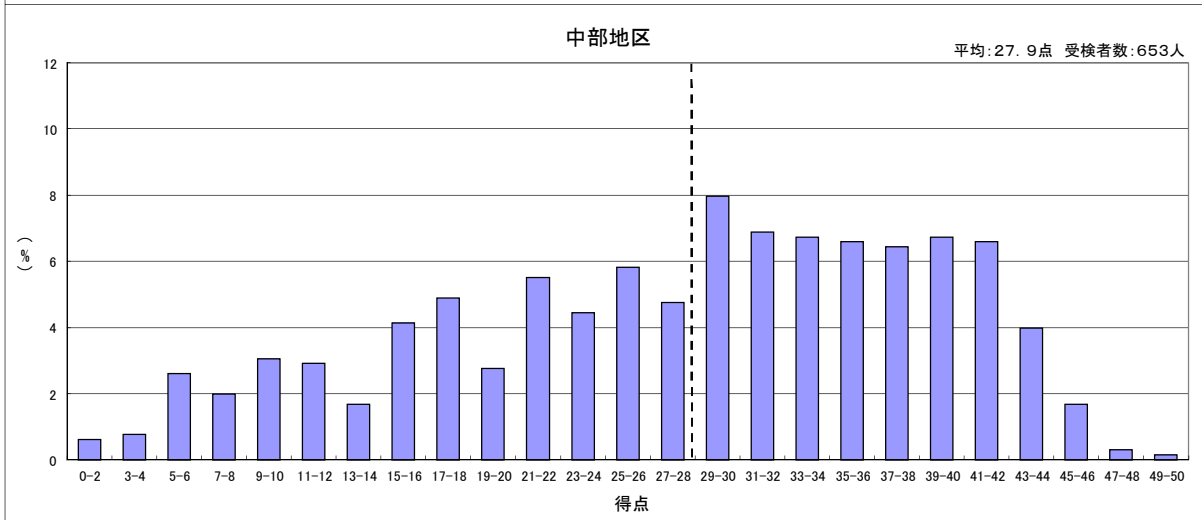
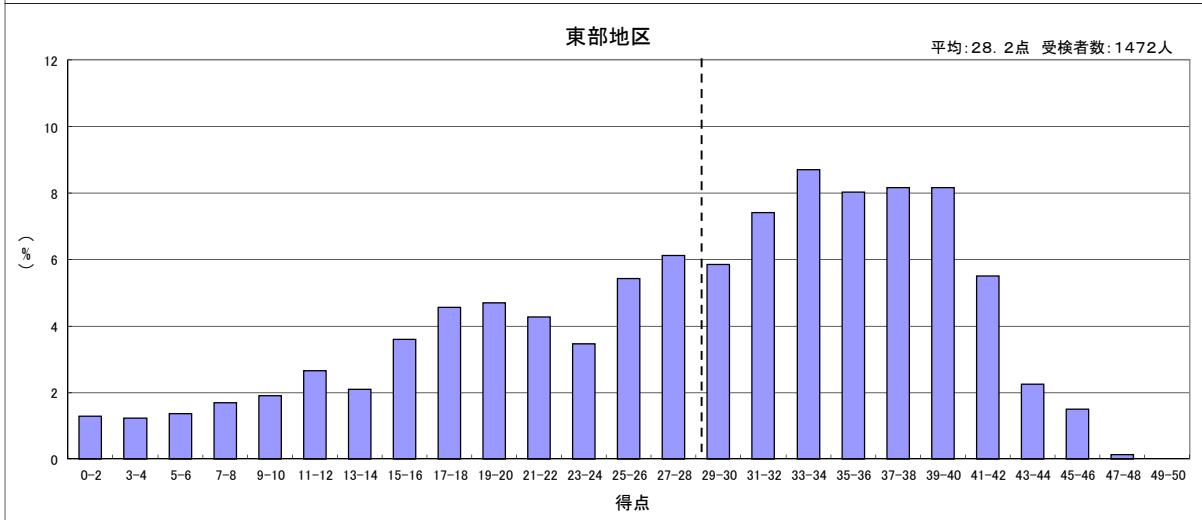
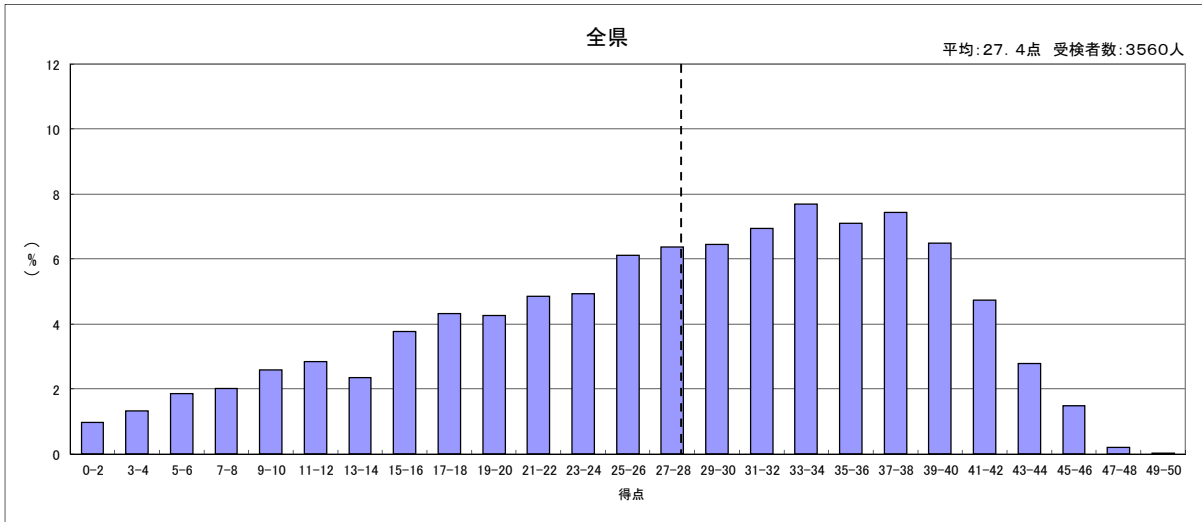
平成29年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



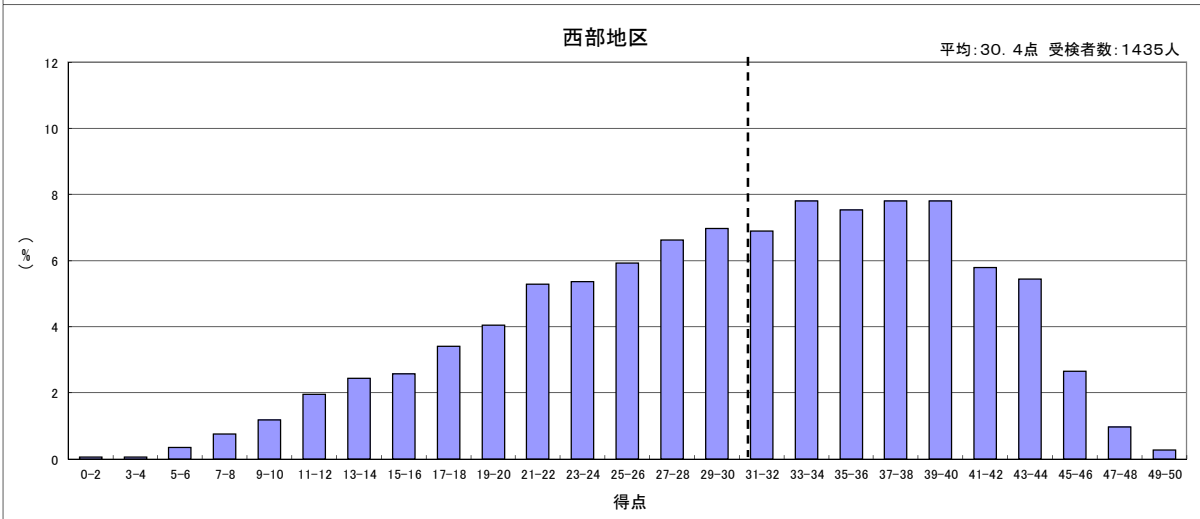
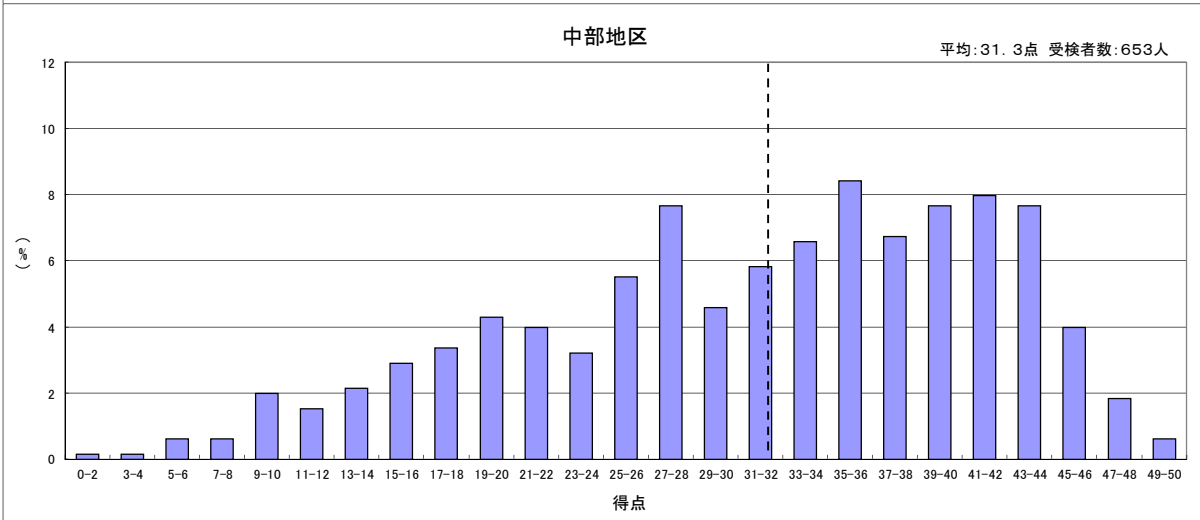
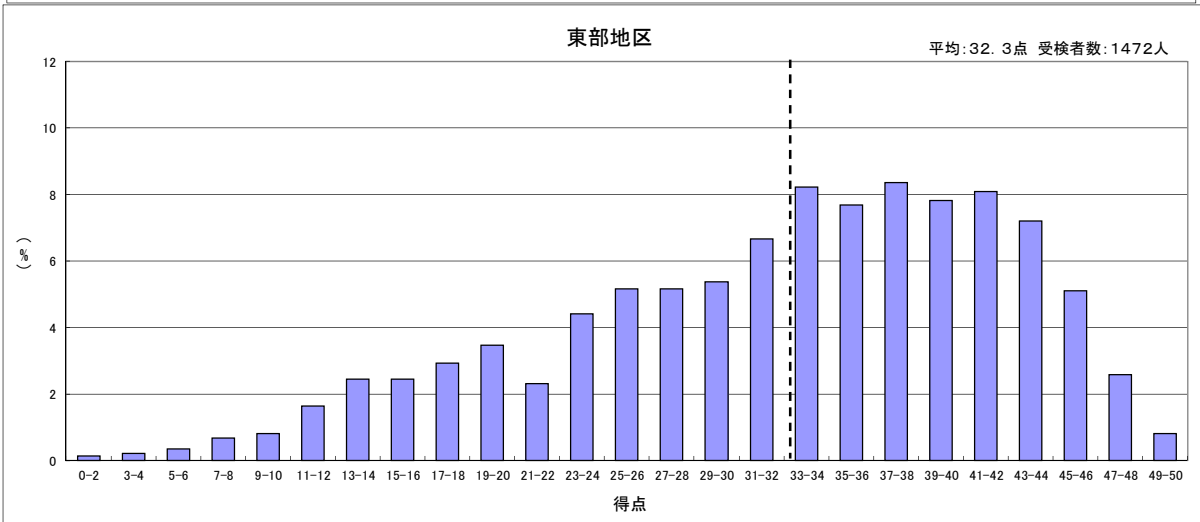
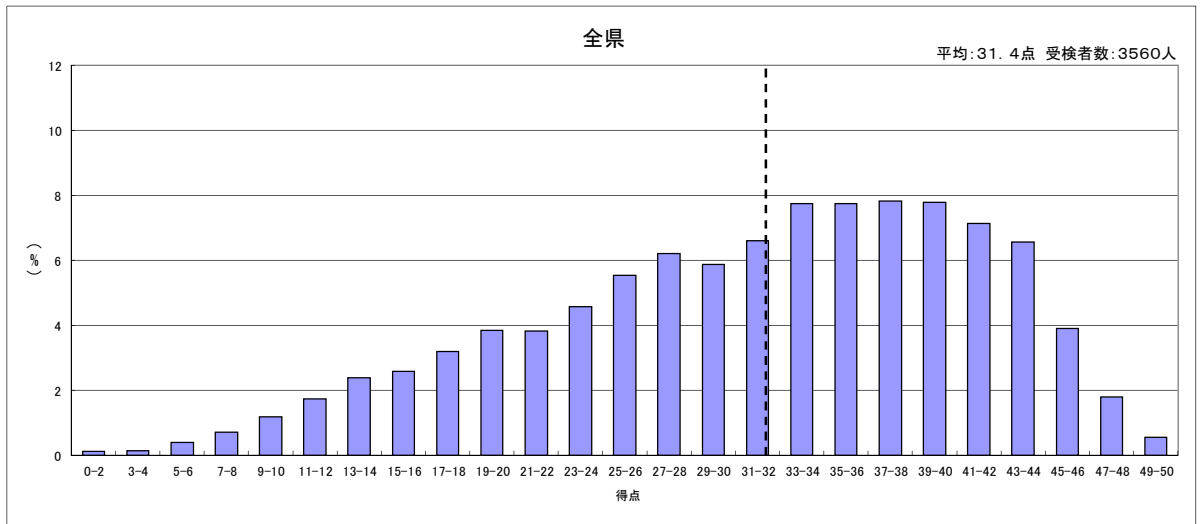
平成29年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



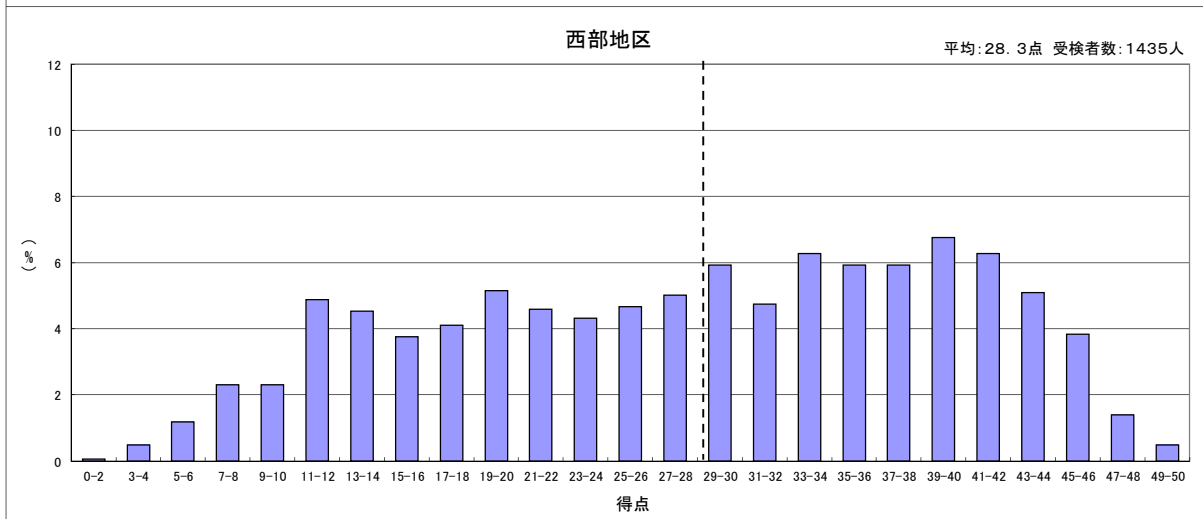
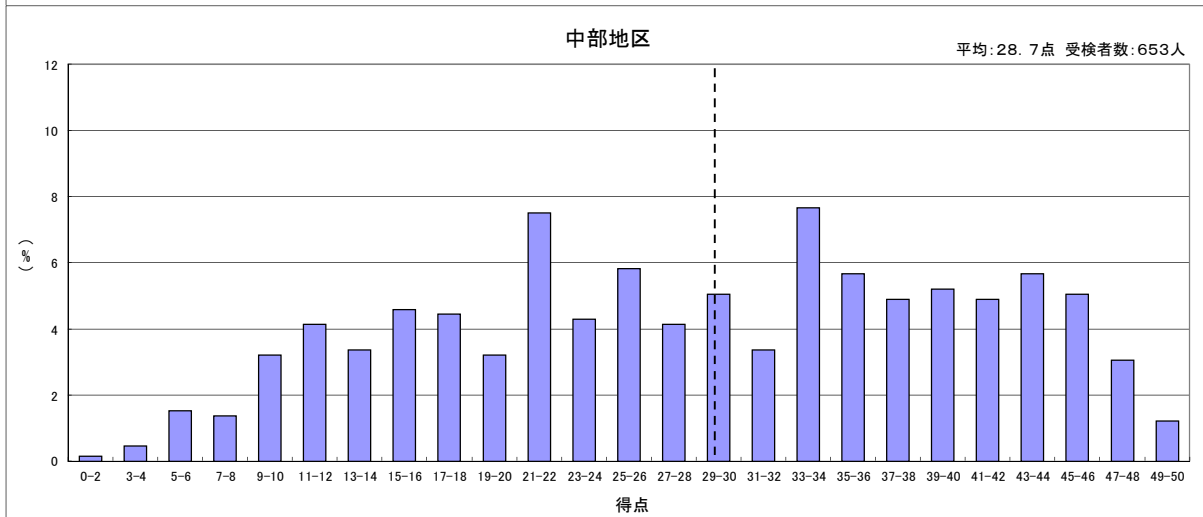
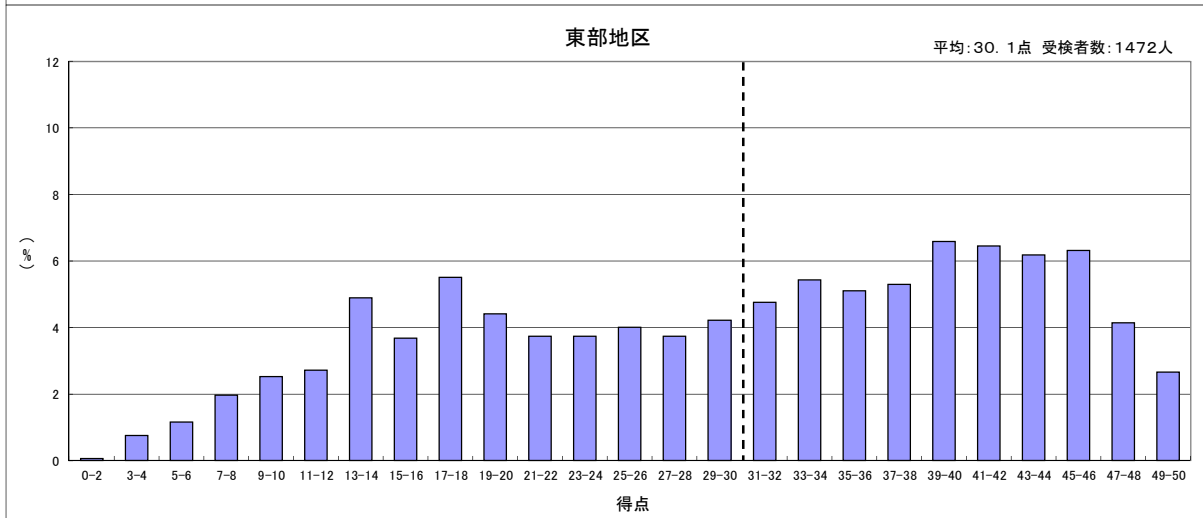
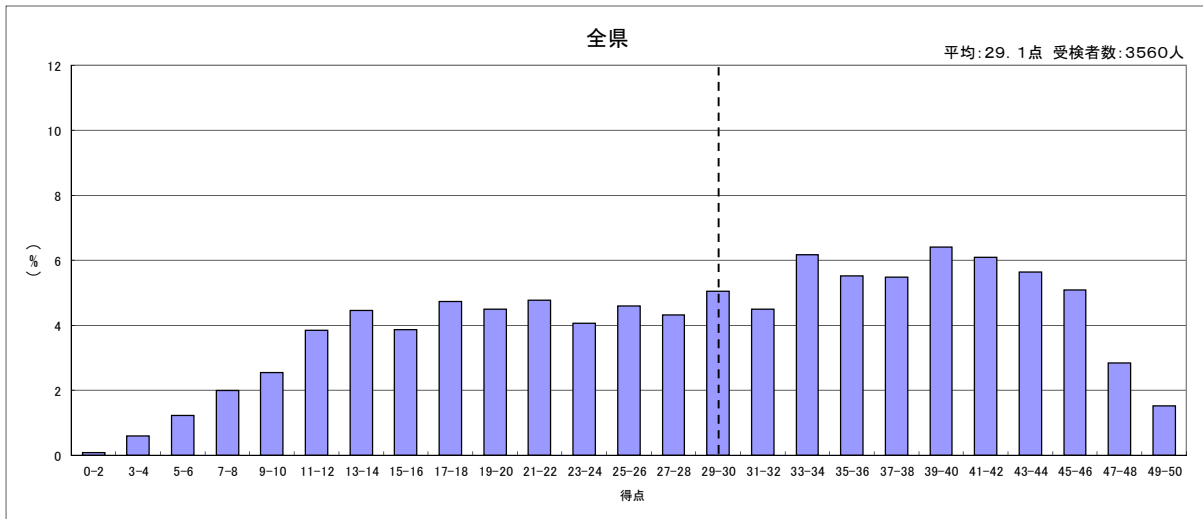
平成29年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



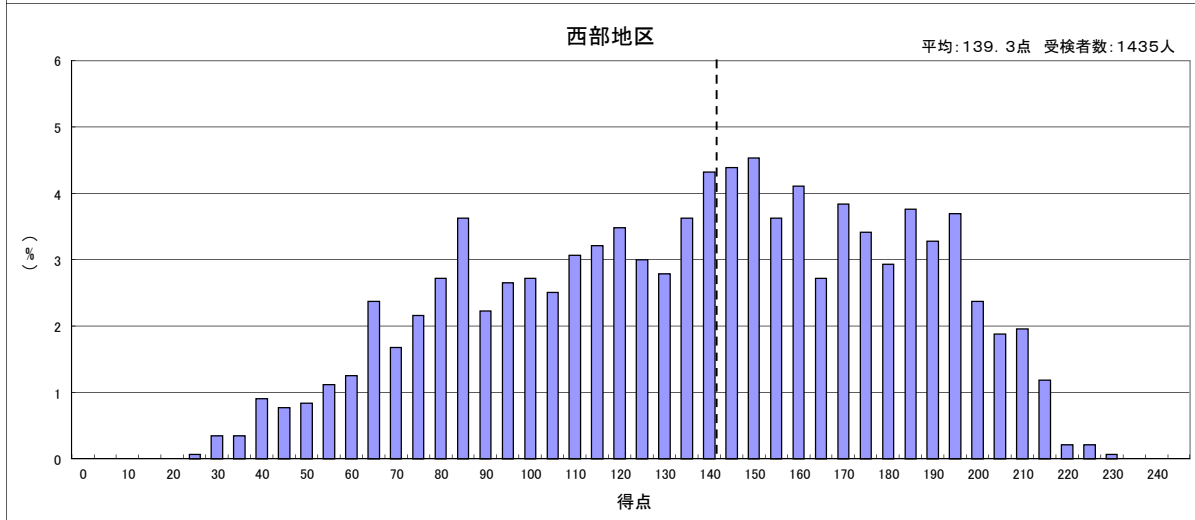
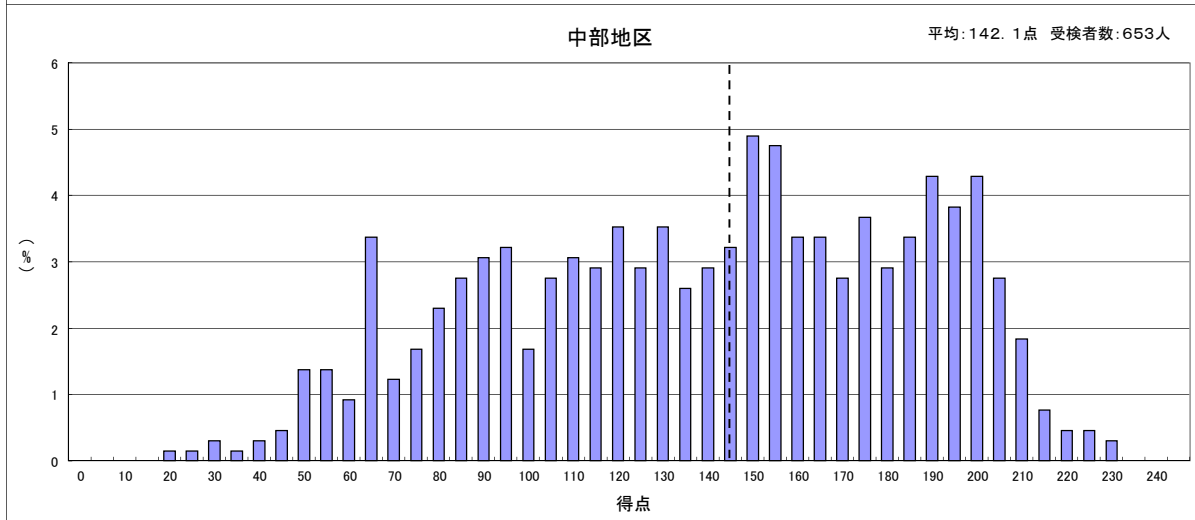
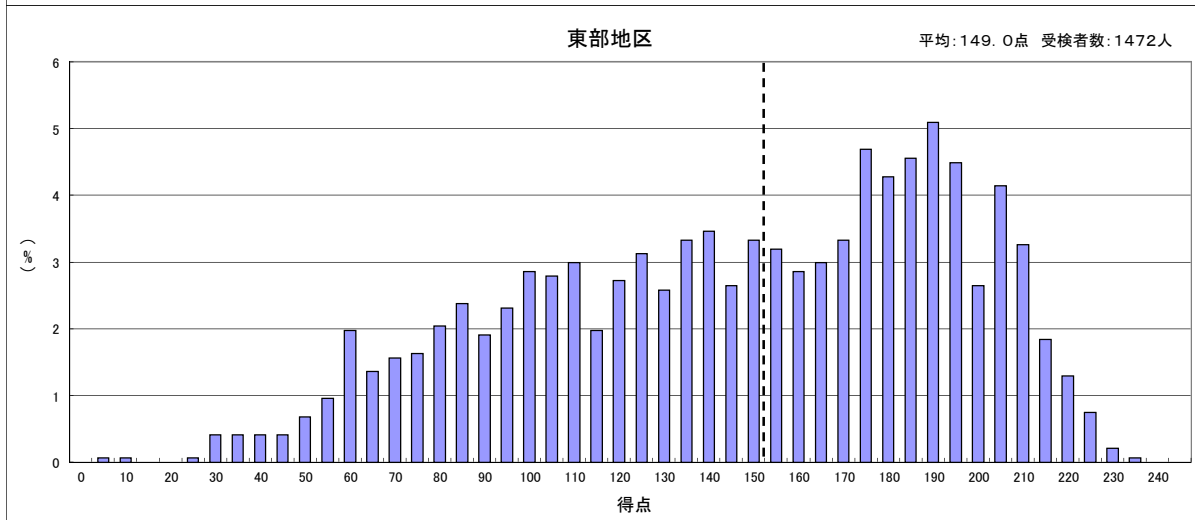
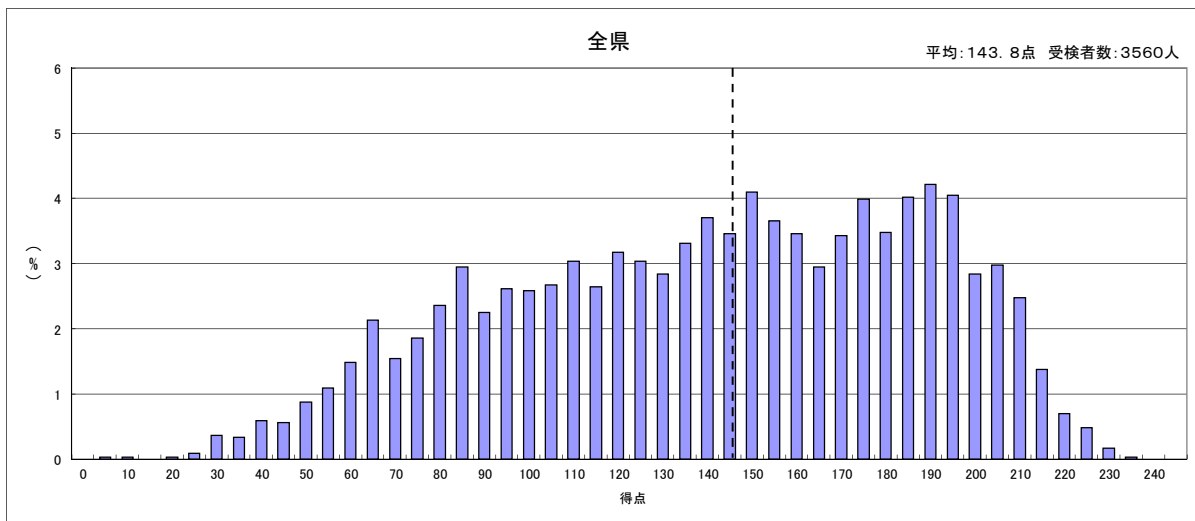
平成29年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



平成29年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



平成29年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



平成29年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査分析

鳥取県教育委員会

《 考 察 》

【 国 語 】

国語については、基礎的・基本的な言語事項を問う問題から応用的な問題まで幅広く出題した。基礎的・基本的な言語事項の正答率は概ね高く、知識的要素は概ね身につけている。しかし、説明的文章では、抽象度の高い文章であったためか、本文全体の読み取りが困難だったように思われる。一方、文学的文章では、心情を問う問題を中心に正答率は高かった。中学校の国語の学習の中で、文章全体と部分との関係や文章の構成に着目しながら文章を解釈しようとする態度を育成する必要があると考えられる。また、作文問題の結果を通じて、自分の考えの根拠としてふさわしいかどうかを検討したり、結論に導くための理由や論理の展開の仕方などに着目したりする学習活動を意図的に行うことが求められる。

【 社 会 】

社会については、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を問う問題や、習得した知識をもとに資料を読み解いた上で答える問題を中心に出题した。基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得に関する内容については正答率が高かった。一方で、習得した知識をもとに資料を読み解いた上で解答する問題の正答率が低かった。既習の知識を活用しながら深く学ぶことや考察したことを適切に説明することが課題である。今後も、現実の社会的事象と結び付けた学習の充実を図り、社会の形成に主体的に参画しようとする力を養うことが重要である。また、多角的・多面的に考察し表現する力を育成するために、地理、歴史、公民の各分野を関連付けた学習や他教科とのつながりを意識した教科横断的な学習がより一層求められる。

【 数 学 】

数学については、基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、表・図・グラフを活用して課題を解決する問題及び思考の過程を記述する問題を出题した。基本的な計算や単純に数値を求める問題は正答率が高かったが、問題文などから複数の条件を把握して処理する問題や考察課程を数学的に表現する問題では、問題の難易にかかわらず誤答率及び無答率が高かった。これは、問題にある条件と複数の既習事項を組み合わせて考察する問題において、問題文を正確に把握した上で補助線を引く、表を作る、条件に合わせてグラフや図を描くなど、具体的な操作を通して論理的に問題をとらえる力に課題があると考えられる。数式だけでなく、生徒同士で表や図、グラフなどを活用して表現したり、説明しあったりする力を育成していくことが重要である。一方で、文字式の意味を理解することは改善傾向にあるため、引き続き数量の関係を文字式に表すことや、逆に文字を使って表された式の意味を理解する指導を更に充実させることが重要である。

【 理 科 】

理科については、基礎的・基本的知識や理解度を問う問題から、観察・実験の結果を処理して考察する問題まで幅広く出題した。重要語句や基本的なしくみの説明の問題は正答率が高く、無答率も低かった。しかし、観察・実験の結果を分析し解釈して、計算や作図を行う問題では正答率が低く、無答も多くみられた。また、地層の広がりや空間的に考察する問題や実験の考察に必要な追加の実験操作を考える問題でも正答率が低かった。平素の授業において、目的意識を持って主体的に観察・実験を行い、データを適切に処理し、予想と比較しながら考察して表現する能力の育成をめざして指導する必要がある。さらに、科学的概念の理解を深めていくために、粒子モデルやグラフを活用して、生徒自身が説明できる活動を取り入れるなどの指導の工夫が必要である。

【 英 語 】

英語については「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識や技能の定着に加え、それらを活用した表現の能力と理解の能力を測るために、日常生活でよく交わられる対話文や、まとまりのある文章を中心に出题した。英文を聞き取ったり、まとまりのある英文の概要を読み取ったりする問題の正答率は高かったが、実際のコミュニケーション場面を想定して、英語で説明する文を書いたり、長い文章を読んで、書かれている内容から判断して文脈に合う表現を記述したりする問題は正答率が低かった。表現力を育てるためには、一人一人の実態を見取った上で、英語で表現する意欲を育てる具体的な支援も必要である。授業に一定量の英文を書いたり、話したりする活動を設定し、正確さを評価するだけでなく、記述量・発話量の多さや、粘り強く伝えようとする態度を肯定的に評価する等の工夫も必要である。

《 国 語 》

【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識を問うとともに、目的や場面に応じて話すことについて、その理解力をみる。
- 2 論理的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 文学的な文章を読むことを通して、文章に描かれた場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
また、目的に応じて文章から必要な情報を読み取り、根拠を明確にしながら、自分の考えを与えられた条件に従って文章にまとめる力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、基礎的・基本的事項及び話すことについて理解する力をみた。漢字の読み、書写に関する問題の正答率は高く、中学校での学習指導の定着がうかがえた。しかし、表現内容を理解し、解答条件をふまえて適切に表現する力が求められる問題の正答率は低かった。日頃の学習において、複数の要素を複合させて思考する学習活動を取り入れたい。また、慣用句を答える問題の正答率も低かった。慣用句に関する知識を広げて、日常的な学習活動で用いることにより、定着を図りたい。
- 2 問題二は、説明的文章とし、筆者の論の展開、表現内容を理解する力を問う問題構成とした。文章量は例年並みだが、現代の科学をテーマとした文章で、やや抽象度が高く専門用語も使用されていたためか、本文全体の読み取りが困難だった生徒もいたと思われる。また、全体の要旨を把握した上で、問われていることに対して的確に表現する力が不足していることがうかがえた。中学校の国語の学習の中で、文章全体と部分との関係や文章の構成に着目しながら文章を解釈しようとする態度を育成する必要がある。
- 3 問題三は、文学的文章とし、表現内容・登場人物の心情等の読解力を問う問題構成とした。平易な文章で親しみやすい内容であったため、心情を問う問題を中心に正答率は高かった。また、与えられた条件に従い、目的に応じて文章から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみた。複数の条件をふまえて自分の考えを表現しようとする意識はうかがえたが、根拠を適切に示すことができない解答が目についた。自分の考えの根拠としてふさわしいかどうかを検討したり、結論に導くための理由や論理の展開の仕方などに着目したりする学習活動を意図的に行いたい。
- 4 問題四は、古典の出題とし、古文の基本的な知識や内容を理解する力をみた。歴史的仮名遣いの問題は正答率が高いが、文脈を理解した上で答える問題はやや正答率が低い。中学校での学習指導を通して、古典としての古文や漢文に、より一層親しむ態度を育てたい。

《 社 会 》

【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色を考察する地理的な見方や考え方が身についているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考えて判断し、表現する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野を中心に出题した。問1(1)《オセアニアとヨーロッパとのつながり》、問4(1)《県庁所在地》、問4(2)《日本のエネルギー事情》、問6《日本の農業の特色》については、いずれも正答率が7割を超えた。一方で、問2《チェコの自動車産業の特色》、問3(3)《日本と西半球に位置する都市との時差》、問7《日本の旅客流動》については、いずれも正答率が4割を下回った。地理的な見方や考え方の基礎を養うため、現在の社会動向にも関心を持たせながら、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を図っていくことが今後も求められる。特に、資料を読み解くために必要な技能を身につけさせることが重要となる。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とした。問1では古代から近世までの歴史を出題した。(1)《時代区分》の正答率は約7割、(3)《院政》、(6)《古代から近世までの人物》の正答率は約6割であった。一方、(4)《歴史の転換点となるできごと》の正答率は約3割、(8)《開国後の外国との関係》の正答率は約4割であった。問2は近代から現代に関する出題とした。(4)《日中平和友好条約》の正答率は約7割であった。一方、(1)《日中戦争から終戦までの軍事費の割合》、(2)《大正末期から昭和初期の文化》の正答率は約4割であった。我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習を重視し、歴史について考察する力や説明する力を育成するとともに、特に近現代史の学習を一層充実させることが大切である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問1(2)《持続可能な国際社会を形成するための取組》、問2(2)《ワークライフバランス》、問3(4)《「一票の格差」》は、いずれも正答率が7割を超えた。一方で、問1(1)《世界の貧困問題を解決する取組》、問4(2)②《日本の社会保障の課題》は、正答率が4割を下回った。現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を育成するとともに、社会の形成に参画する態度を養うことが重要となる。公民的分野に関する知識を習得するだけでなく、様々な資料を適切に収集した上で多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断する力を養うことが大切である。
- 4 「学習した知識や技能を活用しながら、資料を読み解いた上で答える問題」を多く出題した。総合的にみると、三分野とも社会の出来事や動向と関連させながら、基礎的・基本的な知識の習得が図られていると思われる。一方で、課題(問われていること)を把握する力、課題に関する資料を読み解いた上で考察する力、考察したことを適切に表現する力について課題が見られた。今後も、「公民としての資質の基礎」を養うために、小学校からの学びを踏まえた学習の充実を図ることはもちろんのこと、他教科で身につけた能力も積極的に活用しながら授業づくりをすることが求められる。

《 数 学 》

【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力をみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を活かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方や考え方を活用して、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は小問集合とし、各学年で学習する基礎的・基本的事項の理解度及び基本的な計算力を見る問題を出題した。概ね正答率が高く良好な結果であったが、反比例の変化の割合を求めること、円の性質を活用して角度を求めること、回転体の体積を求めること、直角三角形の合同に関する証明で誤答率が高かった。基本的な用語の理解や、数学的根拠に基づいて考察・論証する力の育成が重要である。
- 2 問題2は、ゲームの得点結果について考察する問題とした。最頻値を求める問題は正答率が高く良好であったが、その他の基本的な代表値の理解について課題がある。代表値の必要性と意味及び求め方を正しく理解したり、様々なグラフを用いて資料の傾向をとらえ説明したりする数学的活動の充実が必要である。
- 3 問題3は、温泉施設の入浴者数を題材として連立方程式を用いて解決する問題とした。文字式の意味を説明することは改善傾向にあるが、事象を表やグラフに整理して数量の関係を文字式に表すことには課題がある。また、求めた数値が解として妥当かどうか吟味せずに解答する誤答が見られた。
昨年度に続き、思考の過程を論理的に記述する設問を出題した。自分の考えを説明したり、相手の説明を批判的に聞いたりする活動を通して、グラフや図の中から必要なものを適切に選択し考察するなど、思考力・判断力・表現力を伸ばす指導が重要である。
- 4 問題4は、二次関数と一次関数のグラフに関する融合問題とした。比例定数を求める問題は改善傾向にあるが、基本的な用語である「傾き」や「切片」を正しく理解して直線の式を求めることは課題である。また、平面図形との融合問題について、図形の性質に着目して考察することに課題もあり、複数の既習事項を組み合わせで考察したり、グループで意見や考えを出し合って理解を深めたりする数学的活動の充実も重要である。
- 5 問題5は、折り紙を題材にして立体図形を考察する問題とした。全体的に誤答率・無答率が高かった。三平方の定理などの既習事項を立体図形の中で活用し、立体を多角的に分析し論理的に考察する態度の育成が重要である。また、ICTを活用したり、実際に立体図形を作成したりするなどの操作活動の充実も重要である。

《 理 科 》

【出題の基本方針】

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な事項を理解し、知識が身についているかをみる。
- 2 自然の事物・現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方ができているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力が身についているかをみる。
- 4 身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。生態系についての基礎的・基本的な知識と、生物の数量的なつり合いについての考察力をみる問題である。全体的に正答率が高く、基本的事項の定着が見られた。特に問2の重要語句を問う問題では正答率が96.5%と非常に高かった。また、つり合いがくずれた時の数量的な変化を考察する問題でも正答率が高く、概念の定着も見られた。
- 2 問題2は、物理分野に関する出題とした。水平面と斜面を運動する台車の実験をとおして、科学的な見方や考え方ができているかをみる問題である。問1のグラフを作成する問題では、正答率が38.6%と低く、区間の平均の速さを求める問題でも正答率が59.4%と比較的低かった。実験結果を処理し、量的変化の関係を適切に捉える指導の工夫が必要である。
- 3 問題3は、地学分野に関する出題とした。空気中の水蒸気がおよぼす現象についての問題である。問1の重要語句を問う問題では正答率が82.7%、問4の雲のでき方のしくみを問う問題では正答率が72.8%と高く、基礎的・基本的な知識の定着が見られた。しかし、問3の湿度を求める問題では正答率は23.3%と低く、無答率が26.2%であった。問題文を読み取り、数値の関係を判断する必要があるため無答率が高くなったと考えられるが、身近な現象に関心をもち、科学的に思考する態度を養う指導の工夫が必要である。
- 4 問題4は、化学分野に関する出題とした。加熱による物質の変化に関する問題である。問3の酸化銅の還元で生成する銅と残った酸化銅の質量合計を求める問題では、正答率が23.8%と低く、無答率が14.9%と高かった。問題文から反応における量的関係を見だし、その関係を用いて計算する二段階の思考が必要である。化学反応を粒子モデルで思考する概念の定着と、実験の結果から量的関係を見だし、活用していく指導の工夫が必要である。
- 5 問題5は、生物分野に関する出題とした。栄養分の消化と吸収に関する問題である。全体的に正答率が高く、おおむね良好であった。ただし、問4の適切な実験操作を見いだす問題では正答率が32.7%と低かった。観察・実験では、予想をもとに、比較する条件を検討するなど、目的意識を持って主体的に行い、総合的に考察する能力を育成する指導の工夫が必要である。
- 6 問題6は、化学分野に関する出題とした。密度の視点から物質の変化について考察する問題である。問2は基本的な密度の計算問題であったが、正答率は29.7%と低く、誤答分析では、基本的な密度の考え方が理解できていないと思われるものも少なくなかった。密度のような公式的な計算を伴う概念についても、科学的に思考し、表現していき、本質的な概念の理解を深めていく指導の工夫が必要である。
- 7 問題7は、物理分野に関する出題とした。光の性質に関する問題である。問3は、光の基本的な性質を活用して、作図をしなければならない問題であったが、正答率が19.3%と低かった。観察・実験をとおした基礎的概念の定着をはかり、その概念を活用して思考する態度を養う指導の工夫が必要である。
- 8 問8は、地学分野に関する出題とした。地層の重なりから大地の時間的な変化に着目する問題である。問5の離れた地点の地層の重なりを考察する問題では、正答率が18.8%と低かった。柱状図などの資料を読み取り、地層の空間的な広がりを捉える見方や考え方を養うことが必要である。

《 英 語 》

【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的知識と、それを活用する力が身についているかをみる。
- 2 日常生活の身近な事柄などについて、短い英語やまとまりのある英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常生活の身近な事柄などについて、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 まとまりのある英文を読んで、本文や対話の流れを理解したり、重要な情報を正確に読み取ったりする力をみる。
- 5 物語文を読んで、本文の展開や、登場人物の考えや気持ちなどを正確に読み取る力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1の「聞くこと」に関する問題では、正答率が高く、まとまりのある英文の概要をとらえることが概ねできており、中学校での指導の成果が現れている。今後も継続して、教員やALTによる発話モデルの提示や生徒相互の対話活動の設定により、内容理解を深める指導を求めたい。また、生徒自身が話し手に聞き返す等の機会を設定して、正確に聞き取りができていないか確認することも大切である。
- 2 問題2の語彙及び文法事項に関する問題は、文脈に合う語を補って対話文を完成させる設問で、授業でよく取り扱われている事項については、正答率が高い傾向にあった。今後も運用度の高い語彙や文法事項については、実際に使われる場面を想定して練習し、定着を図ることが必要である。
- 3 問題3の「書くこと」に関する問題では、対話の中で身近な行事について留学生に説明する設問としたところ、得点率が昨年度をやや下回る結果となった。「書くこと」の指導を行う際には、まず生徒同士でトピックに関するアイデアを話し合った後、個別に自分の意見をまとめて、作文させ、推敲させる等、流暢さと正確さを共に育てる指導を展開する必要がある。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、大まかな内容の読み取りを問う設問の正答率は高いが、会話の流れから判断して、適切な英文を考えて補充する設問については正答率が低い。目的に応じ、その場に合った表現ができるようにするためには、具体的なコミュニケーションの場面を想定しての言語活動を繰り返して行う必要がある。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、本文の内容に合う日本文や英文を選んだりする問題は正答率が高いが、物語のあらすじや内容から判断して、適切な英語を補充する設問については正答率が低い。今後もできるだけ多くの英文に触れる機会を設定し、登場人物の心情や物語の流れをつかみながら読み取り、理解したことについて自分の気持ちや考えを表現する言語活動を進めていく必要がある。

平成29年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】（答案数：202）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題一	問一	(1) 表現の理解	記号	153	75.7%	0	0.0%	49	24.3%	0	0.0%
		(2) 表現の理解	記号	162	80.2%	0	0.0%	40	19.8%	0	0.0%
		(3) 表現の理解	記述	51	25.2%	63	31.2%	72	35.6%	16	7.9%
	問二	① 漢字の読み	記述	173	85.6%	0	0.0%	25	12.4%	4	2.0%
		② 漢字の読み	記述	152	75.2%	0	0.0%	40	19.8%	10	5.0%
		③ 漢字の書き	記述	158	78.2%	0	0.0%	32	15.8%	12	5.9%
		④ 漢字の書き	記述	135	66.8%	0	0.0%	44	21.8%	23	11.4%
	問三	語句の知識	記号	131	64.9%	0	0.0%	71	35.1%	0	0.0%
	問四	俳句の知識	記号	163	80.7%	0	0.0%	39	19.3%	0	0.0%
問五	書写の知識	記号	157	77.7%	0	0.0%	43	21.3%	2	1.0%	
問六	漢文の知識	記述	112	55.4%	0	0.0%	86	42.6%	4	2.0%	
問題二	問一	語句の知識	記号	87	43.1%	0	0.0%	115	56.9%	0	0.0%
	問二	内容の理解	記述	11	5.4%	38	18.8%	144	71.3%	9	4.5%
	問三	A 文脈の理解	記号	152	75.2%	0	0.0%	50	24.8%	0	0.0%
			B 記号	157	77.7%	0	0.0%	45	22.3%	0	0.0%
	問四	内容の理解	記述	24	11.9%	27	13.4%	101	50.0%	50	24.8%
	問五	文脈の理解	記号	137	67.8%	1	0.5%	63	31.2%	1	0.5%
	問六	内容の理解	記号	110	54.5%	1	0.5%	87	43.1%	4	2.0%
問七	文章の構成	記号	78	38.6%	1	0.5%	121	59.9%	2	1.0%	
問題三	問一	文法の知識	記号	143	70.8%	0	0.0%	59	29.2%	0	0.0%
	問二	内容の理解	記号	183	90.6%	0	0.0%	19	9.4%	0	0.0%
	問三	内容の理解	記号	161	79.7%	0	0.0%	41	20.3%	0	0.0%
	問四	文脈の理解	記号	97	48.0%	0	0.0%	105	52.0%	0	0.0%
	問五	(1) 内容の理解	記述	110	54.5%	10	5.0%	66	32.7%	16	7.9%
		(2) 内容の理解	記述	15	7.4%	44	21.8%	106	52.5%	37	18.3%
		(3) 内容の理解	記号	151	74.8%	0	0.0%	47	23.3%	4	2.0%
	問六	表現の理解	記号	133	65.8%	0	0.0%	66	32.7%	3	1.5%
問七	目的に応じた表現	記述	29	14.4%	89	44.1%	70	34.7%	14	6.9%	
問題四	問一	歴史的仮名遣い	記述	165	81.7%	0	0.0%	16	7.9%	21	10.4%
	問二	語句の知識	記号	106	52.5%	0	0.0%	85	42.1%	11	5.4%
	問三	内容の理解	記号	131	64.9%	1	0.5%	54	26.7%	16	7.9%
	問四	(1) 内容の理解	記述	60	29.7%	1	0.5%	111	55.0%	30	14.9%
		(2) 内容の理解	記号	121	59.9%	1	0.5%	62	30.7%	18	8.9%
(3) 内容の理解		記号	90	44.6%	1	0.5%	90	44.6%	21	10.4%	

平成29年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】（答案数：202）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	1 オセアニアの国旗	記号選択	153	75.7%	0	0.0%	49	24.3%	0	0.0%
		2 アジアの宗教	記号選択	85	42.1%	0	0.0%	116	57.4%	1	0.5%
	問2	E Uの特色	説明	71	35.1%	25	12.4%	94	46.5%	12	5.9%
	問3	1 アメリカの地形	記号選択	124	61.4%	0	0.0%	78	38.6%	0	0.0%
		2 同緯度にある地域	記号選択	97	48.0%	0	0.0%	105	52.0%	0	0.0%
		3 日付変更線をまたぐ時差計算	語句記述	79	39.1%	0	0.0%	114	56.4%	9	4.5%
	問4	1 県庁所在地	語句記述	140	69.3%	0	0.0%	41	20.3%	21	10.4%
		2 エネルギー（発電）	語句記述	152	75.2%	0	0.0%	49	24.3%	1	0.5%
	問5	環境（二酸化炭素の排出量）	記号選択	63	31.2%	0	0.0%	138	68.3%	1	0.5%
	問6	日本の農業の特色	記号選択	171	84.7%	0	0.0%	31	15.3%	0	0.0%
問7	日本の旅客移動	記号選択	52	25.7%	0	0.0%	150	74.3%	0	0.0%	
地理的分野				1,187	53.4%	25	1.1%	965	43.4%	45	2.0%
問題2	問1	1 時代区分	語句記述	146	72.3%	0	0.0%	50	24.8%	6	3.0%
		2 古代（5世紀）の文化	記号選択	122	60.4%	0	0.0%	80	39.6%	0	0.0%
		3 院政	語句記述	128	63.4%	0	0.0%	66	32.7%	8	4.0%
		4 時代の把握	並べ替え	56	27.7%	0	0.0%	146	72.3%	0	0.0%
		5 中世の農業	記号選択	116	57.4%	0	0.0%	86	42.6%	0	0.0%
		6 古代～近世の人物	記号選択・語句記述	128	63.4%	0	0.0%	73	36.1%	1	0.5%
		7 江戸時代の法令	記号選択	109	54.0%	0	0.0%	93	46.0%	0	0.0%
		8 近代初期の外国との関係	記号選択	76	37.6%	0	0.0%	126	62.4%	0	0.0%
	問2	1 1900年代前半の国家予算と軍事費	記号選択	74	36.6%	0	0.0%	128	63.4%	0	0.0%
		2 大正末期から昭和初期の文化	記号選択	76	37.6%	0	0.0%	126	62.4%	0	0.0%
		3 高度経済成長期の時代背景	記号選択	137	67.8%	0	0.0%	65	32.2%	0	0.0%
		4 戦後の外国との関係	記号選択	151	74.8%	0	0.0%	51	25.2%	0	0.0%
歴史的分野				1,319	54.4%	0	0.0%	1,090	45.0%	15	0.6%
問題3	問1	1 フェアトレード	語句記述	62	30.7%	0	0.0%	105	52.0%	35	17.3%
		2 リデュース・リユース・リサイクル	記号選択	144	71.3%	0	0.0%	58	28.7%	0	0.0%
	問2	1 労働基本権	語句記述	75	37.1%	0	0.0%	116	57.4%	11	5.4%
		2 ワーク・ライフ・バランス	記号選択	152	75.2%	0	0.0%	49	24.3%	1	0.5%
	問3	1 衆議院の優越	記号選択	122	60.4%	0	0.0%	80	39.6%	0	0.0%
		2 内閣総理大臣と国務大臣	語句記述	129	63.9%	0	0.0%	49	24.3%	24	11.9%
		3 議院内閣制	語句記述	95	47.0%	0	0.0%	82	40.6%	25	12.4%
		4 一票の格差	記号選択	171	84.7%	0	0.0%	31	15.3%	0	0.0%
	問4	1 需要と供給	記号選択	136	67.3%	0	0.0%	66	32.7%	0	0.0%
		2① 財政政策	記号選択	103	51.0%	0	0.0%	98	48.5%	1	0.5%
	2② 社会保障と少子高齢社会	説明	42	20.8%	72	35.6%	72	35.6%	16	7.9%	
市民的分野				1,231	55.4%	72	3.2%	806	36.3%	113	5.1%
合計				3,737	54.4%	97	1.4%	2,861	41.7%	173	2.5%

平成29年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】（答案数：202）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	201	99.5%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	
		(2) 分数の計算（異符号の商）	計算	191	94.6%	0	0.0%	11	5.4%	0	0.0%	
		(3) 平方根を含む式の計算	計算	183	90.6%	0	0.0%	17	8.4%	2	1.0%	
		(4) 多項式の計算（差）	計算	186	92.1%	0	0.0%	15	7.4%	1	0.5%	
		(5) 単項式の計算（乗・除）	計算	149	73.8%	0	0.0%	51	25.2%	2	1.0%	
	問2	等式の変形	計算	144	71.3%	0	0.0%	46	22.8%	12	5.9%	
	問3	因数分解	計算	176	87.1%	0	0.0%	15	7.4%	11	5.4%	
	問4	二次方程式の解の公式	計算	157	77.7%	0	0.0%	33	16.3%	12	5.9%	
	問5	反比例の変化の割合	計算	94	46.5%	0	0.0%	95	47.0%	13	6.4%	
	問6	円周角・中心角・接線	計算	102	50.5%	0	0.0%	88	43.6%	12	5.9%	
	問7	確率（整数の性質）	計算	167	82.7%	2	1.0%	32	15.8%	1	0.5%	
	問8	アイ	文字式の利用	記述	165	81.7%	0	0.0%	30	14.9%	7	3.5%
		ウ	文字式の利用	記述	126	62.4%	0	0.0%	48	23.8%	28	13.9%
	問9	回転体の体積	計算	39	19.3%	0	0.0%	129	63.9%	34	16.8%	
問10	図形の合同の証明	記述	48	23.8%	72	35.6%	57	28.2%	25	12.4%		
問題2	問1	最頻値	計算	184	91.1%	0	0.0%	15	7.4%	3	1.5%	
	問2	相対度数	計算	127	62.9%	0	0.0%	56	27.7%	19	9.4%	
	問3	中央値・平均値	記号選択	105	52.0%	0	0.0%	94	46.5%	3	1.5%	
	問4	相対度数の利便性	記述	74	36.6%	10	5.0%	96	47.5%	22	10.9%	
	問5	度数分布多角形の読み取り	記号選択	124	61.4%	0	0.0%	78	38.6%	0	0.0%	
問題3	問1	(1) 文字式の表し方	記号選択	136	67.3%	0	0.0%	63	31.2%	3	1.5%	
		(2) 方程式の意味	記述	121	59.9%	12	5.9%	49	24.3%	20	9.9%	
		(3) 連立方程式の解	計算	70	34.7%	4	2.0%	96	47.5%	32	15.8%	
	問2	連立方程式の立式と解	記述	73	36.1%	54	26.7%	17	8.4%	58	28.7%	
問題4	問1	比例定数の決定	計算	166	82.2%	0	0.0%	30	14.9%	6	3.0%	
	問2	直線の方程式	計算	120	59.4%	0	0.0%	59	29.2%	23	11.4%	
	問3	面積	計算	74	36.6%	0	0.0%	59	29.2%	69	34.2%	
	問4	等積変形	計算	3	1.5%	0	0.0%	73	36.1%	126	62.4%	
問題5	問1	作図（対称点）	作図	62	30.7%	6	3.0%	102	50.5%	32	15.8%	
	問2	三平方の定理	計算	142	70.3%	0	0.0%	48	23.8%	12	5.9%	
	問3	展開図	記述	44	21.8%	15	7.4%	107	53.0%	36	17.8%	
	問4	断面図の面積	計算	3	1.5%	1	0.5%	52	25.7%	146	72.3%	

平成29年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】（答案数：202）

問題番号		内容	出題形式		正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	酸素の循環	記述	語句	184	91.1%	0	0.0%	17	8.4%	1	0.5%
	問2	生産者の役割	記述	語句	195	96.5%	0	0.0%	4	2.0%	3	1.5%
	問3	(1) 生物の数量的な関係	選択	記号選択	169	83.7%	0	0.0%	33	16.3%	0	0.0%
		(2) 生物の数量的な変化	選択	並べ替え	183	90.6%	0	0.0%	19	9.4%	0	0.0%
問4	地球温暖化の原因	選択	記号選択	189	93.6%	0	0.0%	13	6.4%	0	0.0%	
問題2	問1	グラフの作図	記述	作図	78	38.6%	0	0.0%	104	51.5%	20	9.9%
	問2	平均の速さの計算	記述	計算	120	59.4%	0	0.0%	58	28.7%	24	11.9%
	問3	力の分解の作図	記述	作図	155	76.7%	0	0.0%	40	19.8%	7	3.5%
	問4	力と速さのふえ方	選択	記号選択	149	73.8%	0	0.0%	52	25.7%	1	0.5%
	問5	力学的エネルギー	選択	記号選択	163	80.7%	0	0.0%	39	19.3%	0	0.0%
運動エネルギー		選択	記号選択	125	61.9%	0	0.0%	77	38.1%	0	0.0%	
問題3	問1	露点	記述	語句	167	82.7%	0	0.0%	27	13.4%	8	4.0%
	問2	露点を求める	記述	計算	96	47.5%	0	0.0%	85	42.1%	21	10.4%
	問3	湿度の計算	記述	計算	47	23.3%	0	0.0%	102	50.5%	53	26.2%
	問4	実験の考察	選択	記号選択	125	61.9%	0	0.0%	77	38.1%	0	0.0%
	問5	雲の発生のしくみ	選択	記号選択	147	72.8%	0	0.0%	55	27.2%	0	0.0%
問題4	問1	分解	記述	語句	152	75.2%	0	0.0%	44	21.8%	6	3.0%
	問2	(1) 酸素特定の実験操作と結果を考える	記述	説明	124	61.4%	1	0.5%	59	29.2%	18	8.9%
		(2) 酸化銀の分解の化学反応式	記述	化学式等	71	35.1%	0	0.0%	118	58.4%	13	6.4%
	問3	(1) 酸化銅の炭素による還元	記述	化学式等	132	65.3%	0	0.0%	59	29.2%	11	5.4%
(2) 生成する銅と酸化銅の計算		記述	計算	48	23.8%	0	0.0%	124	61.4%	30	14.9%	
問題5	問1	アミラーゼ	記述	語句	160	79.2%	0	0.0%	34	16.8%	8	4.0%
	問2	肺胞	記述	語句	183	90.6%	0	0.0%	16	7.9%	3	1.5%
	問3	柔毛のはたらきの説明	記述	説明	138	68.3%	15	7.4%	39	19.3%	10	5.0%
	問4	(1) ベネジクト溶液の実験操作	選択	記号選択	141	69.8%	0	0.0%	61	30.2%	0	0.0%
(2) 追加の実験方法を考える		選択	記号選択	66	32.7%	0	0.0%	135	66.8%	1	0.5%	
問題6	問1	物質の状態変化	記述	語句	170	84.2%	0	0.0%	26	12.9%	6	3.0%
	問2	密度の計算	記述	計算	60	29.7%	0	0.0%	113	55.9%	29	14.4%
	問3	ガスバーナーの正しい操作	記述	並べ替え	146	72.3%	0	0.0%	56	27.7%	0	0.0%
	問4	固体の粒子の様子	選択	記号選択	155	76.7%	0	0.0%	46	22.8%	1	0.5%
	問5	実験結果の考察と説明	記述	説明	102	50.5%	3	1.5%	89	44.1%	8	4.0%
問題7	問1	焦点	記述	語句	180	89.1%	0	0.0%	21	10.4%	1	0.5%
	問2	実像の様子	選択	記号選択	153	75.7%	0	0.0%	49	24.3%	0	0.0%
	問3	光の道筋の作図	記述	作図	39	19.3%	0	0.0%	147	72.8%	16	7.9%
	問4	虚像の特徴	選択	記号選択	132	65.3%	0	0.0%	70	34.7%	0	0.0%
	問5	光の屈折で起こる現象	選択	記号選択	136	67.3%	0	0.0%	66	32.7%	0	0.0%
問題8	問1	凝灰岩のでき方の説明	記述	説明	173	85.6%	0	0.0%	26	12.9%	3	1.5%
	問2	示相化石	記述	語句	162	80.2%	0	0.0%	34	16.8%	6	3.0%
	問3	石灰岩の特徴	選択	記号選択	132	65.3%	0	0.0%	69	34.2%	1	0.5%
	問4	地層のでき方と重なり	選択	記号選択	92	45.5%	0	0.0%	108	53.5%	2	1.0%
	問5	離れた地点の地層の様子	選択	記号選択	38	18.8%	0	0.0%	160	79.2%	4	2.0%

平成29年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】（答案数：202）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	No.1	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	158	78.2%	0	0.0%	44	21.8%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	154	76.2%	0	0.0%	48	23.8%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	128	63.4%	0	0.0%	74	36.6%	0	0.0%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	121	59.9%	0	0.0%	81	40.1%	0	0.0%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	95	47.0%	0	0.0%	107	53.0%	0	0.0%
	問3	(1)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	156	77.2%	0	0.0%	33	16.3%	13	6.4%
		(2)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	85	42.1%	9	4.5%	63	31.2%	45	22.3%
		(3)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	145	71.8%	0	0.0%	48	23.8%	9	4.5%
	問4	Ques.1	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	137	67.8%	0	0.0%	65	32.2%	0	0.0%
		Ques.2	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	167	82.7%	0	0.0%	35	17.3%	0	0.0%
Ques.3		まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	161	79.7%	0	0.0%	40	19.8%	1	0.5%	
問題2	問1	No.1	対話文中の単語補充	単語補充	187	92.6%	0	0.0%	12	5.9%	3	1.5%
		No.2	対話文中の単語補充	単語補充	124	61.4%	0	0.0%	67	33.2%	11	5.4%
		No.3	対話文中の単語補充	単語補充	51	25.2%	4	2.0%	125	61.9%	22	10.9%
	問2	対話文中の語句整序作文	語句整序	142	70.3%	0	0.0%	59	29.2%	1	0.5%	
問題3	問1	内容把握(日本語記述)	日本語記述	144	71.3%	21	10.4%	33	16.3%	4	2.0%	
	問2	内容把握(英文選択)	記号選択	150	74.3%	0	0.0%	52	25.7%	0	0.0%	
	問3	内容把握(空所補充)	英文記述	85	42.1%	33	16.3%	52	25.7%	32	15.8%	
	問4	自由英作文(要望に対して回答)	自由英作文	27	13.4%	76	37.6%	45	22.3%	54	26.7%	
問題4	問1	内容把握(英文選択)	記号選択	139	68.8%	0	0.0%	62	30.7%	1	0.5%	
	問2	内容把握(日本語記述)	日本語記述	93	46.0%	23	11.4%	51	25.2%	35	17.3%	
	問3	内容把握(空所補充)	英文記述	26	12.9%	28	13.9%	108	53.5%	40	19.8%	
	問4	内容把握(英文選択)	記号選択	117	57.9%	0	0.0%	84	41.6%	1	0.5%	
	問5	内容把握(空所補充)	単語補充	46	22.8%	0	0.0%	131	64.9%	25	12.4%	
内容把握(空所補充)		単語補充	69	34.2%	0	0.0%	112	55.4%	21	10.4%		
問題5	問1	内容把握(日本語選択)	記号選択	111	55.0%	0	0.0%	91	45.0%	0	0.0%	
	問2	内容把握(英文選択)	記号選択	112	55.4%	0	0.0%	88	43.6%	2	1.0%	
	問3	内容把握(日本語選択)	記号選択	148	73.3%	0	0.0%	53	26.2%	1	0.5%	
	問4	内容把握(空所補充)	英語記述	53	26.2%	0	0.0%	134	66.3%	15	7.4%	
	問5	内容把握(日本語記述)	日本語記述	80	39.6%	47	23.3%	45	22.3%	30	14.9%	
	問6	内容把握(英文選択)	記号選択	95	47.0%	0	0.0%	101	50.0%	6	3.0%	
記号選択			132	65.3%	0	0.0%	64	31.7%	6	3.0%		